

中米6か国の行政官が神戸の物流を通して都市開発を学ぶ ～神戸の港湾施設や阪神高速道路を視察～

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）は「中米経済統合のための物流ロジスティクス能力強化」コースの研修を11月20日から12月12日まで実施中です。JICAは、SIECA（中米経済統合一般条約常設事務局）加盟国の中米6か国（コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ）において「持続的な経済開発・地域統合のための中米地域物流ロジスティクス開発マスタープラン策定支援プロジェクト」を含め包括的な協力を展開しています。本研修は、中米6か国から14名の都市開発や税関行政に携わる行政官等が来日し、日本の輸送手段の多様化、官民連携、都市開発の講義や視察を通じて、運輸交通・物流の政策立案、プロジェクト組成、実施促進の能力強化を図るものです。

中米地域では、域内関税撤廃の統一化など物流改善にむけた様々な取り組みが実施されていますが、物流コストの高さ、国境税関行政の非効率性、老朽化した物流インフラ等が各国間の貿易・経済の活性化の妨げになっており、これらを解決するための都市開発に向けた組織体制強化と人材育成が課題となっています。本研修参加者は、神戸市の国際技術支援本部の協力により、神戸の都市開発マスタープランに始まる包括的な都市開発について学び、SIECA加盟国内の貿易・経済活性化のためのアクションプランを作成します。

以下の日程にて現場視察や関係者との意見交換を行いますので、ぜひ取材をご検討ください。（インタビューの際は日本語⇄スペイン語の通訳がつきます）

【取材可能な日程・場所】※時間はおよその時間です。

12月4日(月)	13:00-17:00	(視察) 港湾施設: KICT、六甲フェリーターミナル(四国方面フィーダー)
12月5日(火)	13:30-17:30	(視察) 九州/宮崎内航フェリーフィーダー、ハーバーL～P2再開発
12月6日(水)	13:30-17:30	(視察) 海上からの港湾施設ポートツアー
12月7日(木)	13:00-18:30	(視察) 神戸流通センター、神戸ロジスティクスパーク、明石海峡大橋
12月8日(金)	13:30-17:00	(視察) 阪神高速道路の整備と運営、交通管制室

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 研修業務課 三浦 禎子

TEL : 078-261-0383 Email : Miura.Sadako@jica.go.jp

※取材をご希望の方は前日15時までにご連絡ください。詳細をお伝えします。